

多文化プログラム（英語で遊ぼう）

多文化体験プログラムの開催

生活科学学科 生活情報専攻 准教授 野本 尚美

英語サークルを中心として、以下のような日程で乳幼児・小学生向け英語教室及び多文化体験プログラムを開催した。（ ）内は各回の参加者数を示す。

●森田地区児童館英語教室

8月7日（月）13:30-14:30 第3児童クラブ（53名）

8月10日（木）10:30-11:30 第2児童クラブ（27名）

8月17日（木）13:30-14:30 第1児童クラブ（27名）

8月18日（金）13:00-14:00 すみれ児童館（44名）

●福井市子育て支援センター ひよこ広場

「お姉さんと一緒にえいごであそびましょう」

8月28日（月）10:45-11:30（0～3歳児とその保護者17組）

●仁短祭多文化体験プログラム「えいごのゲームであそぼう！」

10月14日（土）10:00-14:00

●AOSSA子育て支援室「えいごであそぼう」

11月25日（土）13:00-14:00（0～6歳児とその保護者19組）

どの回においても、次の2点に重点を置いてプログラムを構成した。

- ・遊びやゲームを通して、体を動かしながら英語を使うこと
- ・友達や親、または本学学生たちとのコミュニケーションの中で英語を使うこと

1. 福井市子育て支援センター ひよこ広場

「お姉さんと一緒にえいごであそびましょう」

今年度初めて実施した企画で、学生6名と共に開催した。乳幼児が対象ということで、指遊びや歌を基本とした構成にした。スポンジにマジックで顔を書き、底面の中央に切り込みを入れたスポンジ指人形を学生たちと事前に作成し、それを指にはめてもらって一緒にFinger Familyを歌った。また、色と体

の動き（手をたたく、足を踏み鳴らす、手を上げるなど）を組み合わせたAction Colorsという歌を歌って、いろいろな色にタッチしてもらった。その後、いろいろな色の食べ物が出てくる絵本『A Beautiful Butterfly』（中本幹子著、アプリコット出版、2001年）を読んで終了した。言葉かけやふれあい方に多少戸惑う学生も見られたが、日ごろ乳幼児やその保護者と触れ合う機会の少ない学生たちにとっては大変貴重な機会であり、センターの先生方や保護者の方々のご協力を得て最後まで楽しく講座を実施することができた。



2. 仁短祭多文化体験プログラム

「えいごのゲームであそぼう！」

学生ホール1階にて英語サークル学生4名と準備を行い開催した。かごを目がけてボールを投げ、描かれている動物の名前を英語で言うという企画で、幅広い年齢の子どもが楽しめるようかごの数や位置を工夫した。来場者が多くなる昼ごろには、生活情報専攻の学生3名が動物のお面を被って学内を歩き回り、出会った子どもたちが動物の名前を言えたらお菓子をプレゼントするという企画も実施した。乳幼児から小学生まで、様々な年齢の子どもに参加していただき、学生と子どもたちが楽しく英語を用いたコミュニケーションを行うことができた。森田地区児童館での英語教室に参加してくれた小学生が「夏休みに児童館で習ったから覚えている」と、難しい英単語をスラスラと答えてくれたときには、学生たちも思わず感嘆の声をあげていた。保護者の方々からも英語講座について多様なご意見を頂戴し、地域の多くの方々に支えられていることを実感した。



3. AOSSA子育て支援室「えいごであそぼう」

今年度初めて実施した企画で、対象年齢が0～6歳と幅広かったため、体の動かし方や手作業のバリエーションを豊富にすることで参加者全員が楽しめるよう工夫した。前半はHead Shoulders Knees & Toes、London Bridge、Make A Circleといった体の動きを伴う歌を一緒に歌った。子どもたちはすぐに歌や動きを覚え、保護者の方と一緒に上手に体を動かしながら楽しんでいる様子が見られた。後半は冬の遊び（スキー、スケート、そりなど）についての英語を学び、色鉛筆を使って簡単なぬりえをしてもらったあと、その厚紙をペットボトルに貼り、風船を膨らませて羽子板に見立てて遊んだ。風船を膨らませる際には子育て支援室のスタッフの方々にもご協力いただき、一人ひとりの子どもたちに好きな色を英語で言ってもらった。最後は『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』（Bill Martin・Eric Carle著、Henry Holt Books for Young Readers、1996年）を読み、色や動物の名前、また英語のリズムにも親んでもらった。講座終了後には保護者の方から「歌や踊りが楽しかった」「子どもがWhat do you see?と言っていて驚いた」などのご感想をいただいた。



学生たちも私自身も、子どもたちの自由な発想力や習得の早さに毎回驚かされ、多くの学びを得ることができた。来年度も充実した講座が開催できるよう、学生と共に準備を進めたい。